

「久米南町過疎地域自立促進市町村計画(案)」に対する町民意見等の募集結果について

平成27年12月17日から平成28年1月15日までの間、「久米南町過疎地域自立促進市町村計画(案)」について、久米南町パブリックコメント実施要綱により御意見を募集したところ、次の2件が寄せられました。これらの御意見等に対する町の考え方を記載しておりますので御覧ください。貴重な御意見ありがとうございました。

計画全般

No.	項目	意見の要旨	町の考え方
1	全般	5年計画とあるが、5年の中での計画と概算予算がない。どのくらいの予算が必要かとても重要だと思う。	計画と平行して予算や実施予定時期を集計した参考資料の作成を進めている。その内容については、毎年、ローリング(計画の実行⇒分析・評価⇒計画の修正・実行というサイクル(循環)を繰り返していく方法)を行って随時見直しを行っていく。
2	全般	地域ごとでリーダーや支援員のよう な人を育成する必要がある。	農業、まちづくりなど各分野におけるリーダーの育成は重要と考える。リーダーの育成事業を積極的に進めていく。
3	4 生活環境の整備	資源ごみの分別は紙を配布するだけではなく、説明会などを開き具体的に説明しないと分別できない。特にプラスチックなどは難しい。	定期的な周知を行うと共に、要望があれば地域の研修会等に職員を派遣するなど、きめ細かな説明をおこない、ごみの減量化を図っていく。
4	10 その他の地域の自立促進に関し 必要な事項	南庄地域でまちづくり団体を組織して案山子まつりを行っているが、もっと多くの人に見ていただき、発展させていきたい。大勢の人に参加していただけるような協力や事業を行ってほしい。	まちづくり団体は過疎地域のコミュニティ形成において重要な役割を担っていただいている。民官協働・連携は久米南町振興計画にも明記され久米南町の目標でもある。町としてはまちづくり団体をつなぐネットワークを構築や情報発信など継続的な支援を行い、民官一体となったまちづくりを目指していく。